

福島県三島町  
広報

平成 26 年 2 月 7 日発行  
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations  
of Mishima-town,  
Fukushima in Japan

# みしま

2014  
February

2

No 251

力合わせて  
サイノカミ

サイノカミを立てる川井地区の皆さん





# 良い年願い サイノカミ

小正月の年中行事「サイノカミ」は1月15日、各地区で一斉に行われました。町内すべて数えると19本。地区住民の方々が集い、燃え盛る火に一年の無事を願いました。

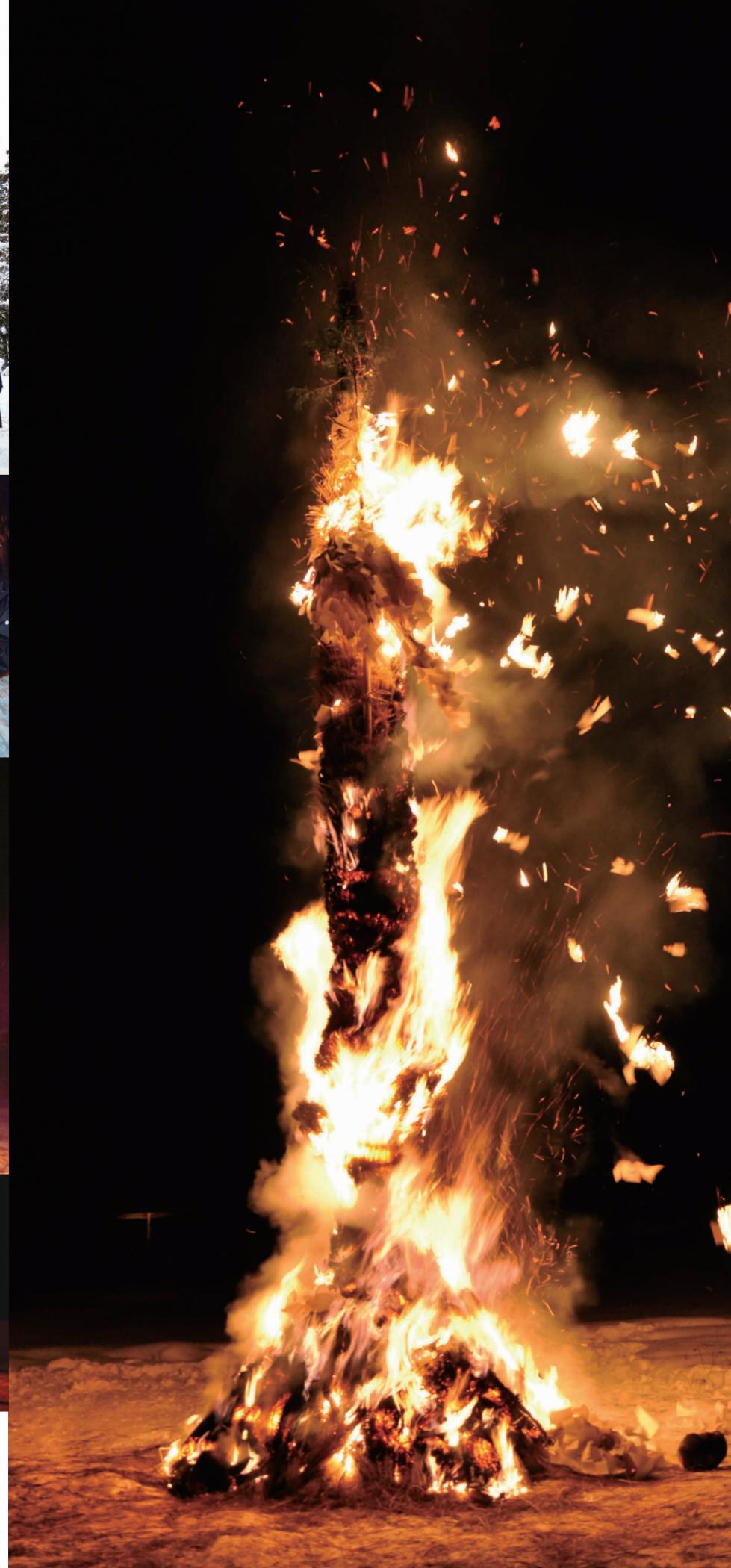
## 「三島のサイノカミ」

国の重要無形民俗文化財（平成20年指定）。東北や北陸などに多く残る火祭りの典型例として、古くからの文化を色濃く残している。起源は明らかではないが、貞享2年（1685年）と文化4年（1807年）に会津の民俗について書かれた「風土記」に記録が残っている。「餅や団子を焼いて食べると病気をしない」「炭を顔に付けると厄払いになる」などの習わしが伝えられ、新年に向けて気持ちを新たにする節目の日である。

「サイノカミ」のほか、「団子さし」「虫送り」「鳥追い」などの民俗行事は、生活工芸や会津桐とともに、「日本で最も美しい村」連合加盟の登録資源となっている。



the most beautiful  
villages  
in japan



### 「サイノカミ」実施地区

- ▶宮下▶桑原▶大登▶川井▶桧原▶滝谷▶名入▶小山
  - ▶大谷（本村・中際・鳥海の3カ所）
  - ▶西方（隣組1・2・3組合同、4組、6・8組合同、7組、9組、10組、13組、14組の8カ所）
- 計19カ所（※滝原は喪中のため中止）

特集

# 皆さんとともに歩む 町営バス

利用者が減少している町営バス。  
朝夕は定期便を運行し、  
日中は予約制の「デマンドバス」とし、  
一月から試験運行を始めました。  
電話予約をお願いしなければなりません、  
停留所が増え、運行範囲も拡大し、  
サービス向上につながるものと考えています。

民間のバス運行がない当町では  
町営バスの運行は、町民の悲願でした。  
利用者が減少したとはいえ、  
子どもたちの通学や、高齢者の通院など、  
なくてはならない交通手段です。  
課題もありますが、  
皆さんのご理解、ご協力をお願いします。  
いつまでも、町営バスが走り続けるために。



2月  
目次

## 2 サイノカミ

4 町農業委員会が建議書提出

## 5 特集 町営バス

## 10 地区座談会報告

14 TownNews6 みしまの出来事  
 桧原地区の「鳥追い」／文化財防火訓練／三島保育所で「団子さし」体験／当町が美しい村ガイドブックに／代々受け継ぐ「初田植え」／西方地区で除雪ボランティア

## 16 町民記者通信

晴れやかに新年会／年に一度のご開帳／サイノカミで厄払い／みかんまきで厄払い／鎮守様の注連縄作り／千枚の半紙でオンベ切り／地区の発展を願い新年会

## 18 申告相談

19 保健・子育て・健康づくり予定／地域ふれあいサロン予定／県立宮下病院から

## 20 民話 第35話 鬼むかし

## 21 県市町村広報コンクール 当町が2部門で特選

こんにちは。協力隊です。Vol.4

22 体調管理3つのポイント／大卒等合同企業説明会／会津坂下警察署から／ご春附／2月の納税／町の人口と世帯

## 23 県警ミニ広報紙コンクール 三島駐在所が第1位

自衛官募集案内／福島県の最低賃金／JR只見線と代行バスに乗って温泉三昧

## 24 東京で奥会津アピール 奥会津・西会津フェア



二瓶町長に建議書を手渡す町農業委員会の阿部通利会長(右)と秦虎雄会長職務代理(中央)

## 町の農業施策について 町農業委員会が建議書を提出

町農業委員会の阿部通利会長と秦虎雄会長職務代理は1月29日、町の農業施策に関する建議書を二瓶町長に手渡しました。建議書には、①農業法人等の組織の再編②遊休農地解消対策③六次化の推進④鳥獣被害防止対策⑤国土調査の推進⑥原子力災害対策—についての指針がまとめられました。

平成26年度は、当町の稲作において大きな面積を耕作していた農業法人が撤退することとなり、遊休農地がますます増えることが避けられない状況であり、早急な対策が必要となつて

います。建議書には、町と農協、農業者が話し合い、集落営農組織の活性化と、農業法人の再編を講じることが記されました。

また六次化の推進については、そば等を使った商品開発に向けて対策を講じることとしました。さらに鳥獣被害防止対策については、高齢化している猟友会の後継者育成と、野生鳥獣が人里に出没しにくい環境整備を早急に進めることとしました。

町では、この建議内容を今後の農業施策に反映させるよう努めていきます。

the most beautiful  
villages  
in japan

**福島県大沼郡三島町 みしままち**

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km<sup>2</sup> ■人口 1,868人 (1月1日現在)



町営バスで毎日通学する子どもたち

# 町営バス、その歴史と運行状況 昭和51年からずっと

町が沸いた  
町営バスの運行開始

町営バスが運行する以前は、国道252号を民間バスが朝晩一往復していましたが、各地区への公共交通はありませんでした。マイカーを持っていない方も多い時代。通勤や買い物、通院、通学のためにバスを望む声は非常に多く、全国でも例のない町営バスの実現に町全体が沸きました。

バス利用者減少  
日中をデマンドバスに

町営バスの利用者数は、昭和58年度のピーク時には延べ19万人を超えました。平成9年度でもまだ13万人以上の利用がありました。が、人口減少、通勤者の減少などから、バス利用者は

間方線、大石田・西方線、滝谷線、早戸線。町内を各路線で結ぶ町営バスは、昭和51年の運行開始から、唯一のバス交通として続いてきました。町民の方々から大歓迎を受け、毎日満員だったあのころ。人口減少や生活の変化に伴い、利用者は少なくなりましたが、その役割は今も変わりません。

著しく減少し、平成24年度には3万3163人となりました。収支も厳しい状況が続いています。

町では、特に利用の少ない日中の運行を、予約制の「デマンドバス」にし、1月から試験運行を始めました。乗客がほとんどいない状態で大型バスを走らせている現状から、小型車で無駄なく運行する方法へと変更したものです。

運賃については、3月までは従来通りとし、定期券、補助券もそのまま利用でき

町営バス利用者数の推移

	年間利用者数
昭和58年度	194,800人
平成9年度	137,842人
平成24年度	33,163人

## 町民の悲願だったバスの運行

おい  
バスがきたぞ

オーライ!!

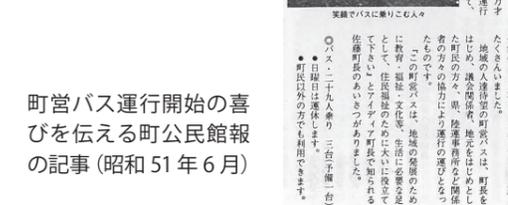


かねてから、地域の人の願いであった町営バスは、6月1日から二路線（大石田-西方線・間方線）で予定通り運転が開始され、乗客は始発からほぼ満員となり、地元の人達はこの上ない喜びに包まれました。運行式は、大石田-西方線では始発の6時40分に、間方線では午後12時20分に、無事故と交通安全を祈り、それぞれ盛大に行われました。町営バスの試運転は、去る5月28日から開始され、全国にも珍らしい、県内でもおもしろい初めという事業だけに各市町村、各方面より注目をあびています。

町では、国道を間方線が、町の主要幹線として、町民の方々の生活に不便をきたして、そこでなんとか、この交通に支障がないよう、町営バスを運行する運びとなりました。町民の方々の生活に不便をきたして、そこでなんとか、この交通に支障がないよう、町営バスを運行する運びとなりました。



住民の喜びをいっぱい乗せて 発車



町営バス運行開始の喜びを伝える町公民館報の記事(昭和51年6月)

バスが村にきた日  
地区総出で大歓迎

昭和51年の町営バス運行開始について、当時の町公民館報に記録が残っています。記事には「地域の人の願いであった町営バスは、6月1日から、2路線（大石田・西方線、間方線）で運転が開始され、乗客は始発からほぼ満員となり、この上ない喜びに包まれました」「浅岐では、運行祝賀の大アーチを道路いっぱい張り、地区総出で町営バスを待ち、花火を上げて大歓迎しました」などと、当時の喜びの様子が記録されています。

交通手段がなく困っていた町民にとって、バスの運行は夢のような出来事でした。また人口の多さや生活環境など、現在とは違う町の様子が分かります。



会津宮下駅前乗客を待つ町営バス。利用者は減っても、通学や通院には欠かせない。

利用者に聞きました。「デマンドバスはどうか？」



### 停留所が近くて助かります。

佐久間 長子さん 早戸

家の近くまで来てくれるので便利です。電話予約のとき、ちゃんと伝えたか不安になることもありますが、何回か利用すれば慣れてくると思います。

### とても便利。夢のようです。

片山 富美子さん 小和瀬

今まではバスには乗れませんでした。が、ワゴン車で小和瀬まで来てくれるようになり、これからは利用できるのが本当にうれしいです。



# 無駄を省いて効率よく デマンドバス

利用者が減少した町営バス。特に日中は、乗客がほとんどいないこともあります。その効率の悪さを解消し、さらにサービス向上につなげるために、小型車による予約制の「デマンドバス」を開始しました。3月までの試験運行で利用者の声を聞きながら、より良い運行体制を目指します。

デマンドバスの試験運行が1月14日から始まりました。電話予約が必要になり、利用者の方々には不慣れな部分もあるようです。町営バスの運行業務を行っている(有)山中ファームの協力を得て、実際の運行の様子を取材しました。

1月23日、この日は会津宮下駅前に午前11時着の便に、大石田、小和瀬、西方の方から予約が入っていました。その予約状況に応じて時間やルートが決められ、利用者にはバスが迎えに来る時間を前もって連絡します。

時間とルートを確認し、まず大石田へ。早めに到着すると、すでに予約した方が停留所で待っていました。そこで待たせることなく乗車してもらい、次の予約時間にはまだ早いので真つすぐ宮下へ向かいました。その方が宮下で下車した後、小和瀬、西方を経由して乗客を乗せ、午前11時までに宮下に到着できました。西方の沼田から乗車した佐藤カツ子さんは、「停

留所が近くなり、まるでタクシーのように利用できますね」と喜んでいました。

このようにデマンドバスは、予約状況、当日の時間調整などにより、臨機応変な対応が可能です。しかし予約が多く重なれば、各地区を経由する遠回りのルートになることもあります。運転手の五十嵐保正さんは「今回のように早く到着することもあれば、予約が多い場合は少し遅れることもあるかもしれません。宮下への到着時間は目安として考えていただき、皆さんのご理解をお願いします」と話しています。

9人乗りのワゴン車で試験運行しているデマンドバス。小回りが利き、停留所の増や、運行範囲の拡大など、サービス向上を目指す



(有)山中ファーム代表取締役の小柴悦郎さんは、「これまででは宮下での滞在が3時間ほどありましたが、デマンドバスでは、例えば11時に来て用事を済ませ、12時に帰ることもできます」とデマンドバスのメリットをあげ、「最初は電話予約に慣れないかもしれませんが、気軽にありませんので、気軽に電話をください」と話し、町民の方々に親しまれるデマンドバスを目指しています。

## わたしたちがご案内します。

町営バス委託業者 (有)山中ファーム

代表取締役

小柴 悦郎さん

電話に慣れれば便利だと思います。予約内容を忘れてしまったときや、利用方法の相談など、気軽にお電話ください。



デマンドバス予約センター担当

小松 ユミ子さん

いつでも気さくに対応いたします。分からないことがあっても大丈夫ですので、どうぞご利用ください。



◆運転手

小柴 悦郎 (高清水) 酒井 佐一 (宮下)  
角田 憲一 (浅岐) 五十嵐 保正 (大石田)  
長谷川 誠 (宮下) 大島 昇一 (浅岐)  
飯塚 徳男 (大石田)

◆デマンドバス予約センター担当

小松 ユミ子 (西方)

## デマンドバスの利用方法

### ①予約の電話をかけてください。

例「明日は宮下に用事があるから、宮下駅前に午前11時着のデマンドバスを予約します。帰りは役場前を午後2時35分発で帰ります」

②予約は利用する前日の午後4時までにお申し込みます。(月曜日の利用の場合は土曜日までに、祝日の場合はその前日までにお申し込みます)

### ②利用日前日の午後5時30分ごろまでに、迎えの時間、停留所をお知らせします。

例「午前10時40分に〇〇停留所でお待ちください」

③月曜日の利用の場合は、土曜日の午後5時30分ごろまでに、祝日の場合はその前日までにお知らせします。

デマンドバス予約センター

▶テレビ電話 (52) 2525

▶一般電話 (52) 3810



町政について報告、意見交換を行った地区座談会（高清水・小山地区）

地区座談会は11月25日から12月24日にかけて、町内15会場で行われ、合計173人が出席しました。

町からは二瓶町長、各課長などが出席し、住環境整備、町営バス（デマンドバス）、地区支援事業、地区要望事項、その他について説明と質疑応答、意見交換を行いました。その主な内容を報告します。

# 昨日、今日、明日 新しい町へ一歩ずつ

## 地区座談会報告

▼住環境整備について  
【高年齢者住宅建設計画の進捗状況について】

▼意見Ⅱ将来的に利用する人数をどのように予測しているのか。住みやすい環境整備となるならば、次々と入居希望が出ると思うが。

▼質問Ⅱ進捗が遅れている理由は。

【回答】昨年12月から部会を開いて建物（ハード部分）の検討を進めてきました。今年3月に基本設計が完了しましたが、具体的な運営方法や、建物内部の構造、予算規模などの調整により、進捗が遅れてしまいました。

▼質問Ⅱ来年11月入居開始ということだが、希望者が多かつたらどうするのか。

【回答】一定の入居条件を設ける予定であり、審査会を経て入居者の優先度を決定したいと考えています。

▼質問Ⅱ足りなかつたらもう一棟建設する必要があるのでないか。

【回答】必要性や財政状況を判断しながら、例えば空き家の活用による整備なども含めて検討します。

▼質問Ⅱなぜ部屋数は8部屋となつたのか。

【回答】利便性の良い場所を第一に選定し、面積基準

【回答】必要性や財政状況を判断しながら、例えば空き家の活用による整備なども含めて検討します。

【回答】町振興計画および高齢者福祉計画に基づき、現状分析のもと、高齢者の緊急課題として考えています。財源は過疎債を予定しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

▼質問Ⅱ近所に相続者がいない空き家があるが、相続権を持たなければ、解体の申請はできないのか。

【回答】町として利用価値があるか判断します。寄付された住宅については、通年的な利用となるように検討しています。

か。ほかの場所の用地交渉は行ったのか。

ることになります。

【回答】入居者の利便性、効率性を考えて選定しました。用地交渉は行っていません。

▼質問Ⅱ自立支援のためのボランティアの育成などの説明があつたが、運営のソフト面のあり方、枠組みは出来上がっているのか。

▼質問Ⅱ入居する見込みはあるのか。

▼質問Ⅱ平屋のようだが雪は大丈夫なのか。

▼質問Ⅱ空き家・住宅改修費等助成金の実績について

▼意見Ⅱこのまま解体が進むと虫食い状態になり、地区の景観が損なわれるのではないかと所有者と協議し、できる限り空き家を活用するように検討してもらいたい。

【回答】屋根を高くし、只見川に排雪できるように設計しています。

▼意見Ⅱこのまま解体が進むと虫食い状態になり、地区の景観が損なわれるのではないかと所有者と協議し、できる限り空き家を活用するように検討してもらいたい。

【回答】空き家の放置、荒廃により集落景観が損なわれており、解体の意向が多い状況です。

▼質問Ⅱ介護が必要な人は入居できないのか。

▼質問Ⅱ町全体として宮下を中心とした集落の形成計画があるのか。各地区、居住者が少なくなっている中で計画はあるのか。

▼意見Ⅱ首都圏向けに田舎に住みたい人へのPRを進めてはどうか。

【回答】原則、日常生活において身の回りのことが自分でできる方とします。一定の介護のもとで自立した生活ができる方も対象とします。

▼質問Ⅱ町営住宅戸数は不足しているのか。町に住み続ける人がいなければ将来的には無意味では。

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

▼要望Ⅱ用地となっている公園は子どもの遊び場なので、なくすなら新たに遊び場を作ってほしい。

▼質問Ⅱ町営住宅戸数は不足しているのか。町に住み続ける人がいなければ将来的には無意味では。

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】何らかの方法で子どもたちの遊び場を確保できるように検討します。

▼質問Ⅱ町営住宅戸数は不足しているのか。町に住み続ける人がいなければ将来的には無意味では。

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

▼質問Ⅱ二人暮らし世帯のうち一人だけ入居することが可能か。

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】入居要件上は可能ですが、入居審査において事情等を確認しながら決め

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに

【回答】町と連携して進めたいと思いますが、すぐに



大谷地区座談会

▼質問Ⅱ予約は何日前までにすればいいのか。  
 【回答】前日までにお願いします。ただし、月曜日の予約は前営業日の土曜日までにお願います。  
 ▼質問Ⅱ帰りの予約も前日までにしなければならぬのか。  
 【回答】前日までにお願いします。  
 ▼質問Ⅱ突然の相乗りは可能か。  
 【回答】原則として予約なしの乗車はできません。  
 ▼要望Ⅱ学校の臨時休校や早帰りなどの場合、当日でも乗車できるようにしてほしい。  
 【回答】他町村では当日の朝の予約が可能な例もありますが、どこまで対応が可能か今後検討していきます。小中学校の早帰りへの対応については学校と調整します。高校生など只見線利用者には、可能な限り対応してまいりたいと考えています。  
 ▼要望Ⅱ高校生の通学に関しては対応してほしい。当日



西方地区座談会

日予約ができない場合は困る場合がある。  
 【回答】できる限り対応できるように努力します。  
 ▼要望Ⅱ本日にサービス向上につながるのか。今までより使いづらくなるとは意味がない。デマンドありきではなく、試運転の状況を踏まえ、従来の路線バスに戻すという方向も検討してもらいたい。  
 【回答】運行便数、停留所の増、運行エリアの拡大など、サービス向上につながるものと考えていますが、3月までの試運転の中で、

▼質問Ⅱこれから田畑が少なくなっていく状況をどう考えているのか。虫送りなどの民俗行事は農業由来のものであるが、今後の農業対策は。  
 【回答】現在、町の農業振興計画の見直しを進めており、先日は農業関係者の座談会を実施しました。今後の農政に関する具体的な方策を検討中です。  
 (2)除雪について  
 ▼質問Ⅱ雪かたしを自分でできない人は、かなり費用をかけて除雪している。町としての対応は。  
 【回答】一人暮らしの高齢者等であれば、社会福祉協議会の支援もありますが、状況に応じて検討していきます。  
 ▼要望Ⅱ地区にある除雪機は大型で扱いづらい。小型除雪機を2台貸与してもらえないか。  
 【回答】除雪機更新の際に地区の要望を聞きながら購入したいと思えます。なお修繕費の負担を考えると1台が望ましいと考えます。  
 ▼要望Ⅱ今年度から除雪作業員が代わり、雪を置いていたり、除雪が遅かったり、車一台がやっと通れるような状況では困る。  
 【回答】役場からも指導しますので、慣れるまで長い目で見ていただきたいと思います。  
 ▼質問Ⅱ除雪車が出る基準は。  
 【回答】積雪15センチとしていますが、状況に応じて行います。  
 (3)防災について  
 ▼質問Ⅱ新しく配布された防災ラジオは貸与か。  
 【回答】貸与です。転出する場合は返却していただきます。  
 ▼質問Ⅱ防災端末（テレビ電話）の放送の音量が安定しないのはなぜか。  
 【回答】放送する際の声の大きさが原因かと思われるので、今後注意したいと思えます。  
 ▼要望Ⅱ災害時には、町職員には緊張感を持って対応してもらいたい。  
 【回答】普段から心掛け、



間方地区座談会

利用者の声を聞きながら、より良い運行体制につなげていきたいと思えます。  
 ▼質問Ⅱ利用者は高齢者が多い。電話予約が難しい場合はどうすればよいか。  
 【回答】金山町でも取り組んでおりますが、開始一年ほどは戸惑いもあったと聞きます。慣れるまで民生委員や地区の方々にご協力いただきながら、利用方法の周知を図っていきたく思います。  
 ▼意見Ⅱ70歳以上も通常料金でよいのではないか。  
 【回答】さまざまな意見を聞きながら検討します。  
 ▼質問Ⅱ理解できない方への対応はどうするのか。  
 【回答】個別に説明対応します。  
 ▼意見Ⅱ利用者は高齢者が多いので、今回の説明以外にも説明の場が必要ではないか。  
 【回答】要望があれば説明会を行いたいと思えます。  
 ▼質問Ⅱデマンドバスは、すべての路線に対応できるのか。  
 【回答】予約に応じてルー

トを決めるので対応できません。  
 ▼質問Ⅱデマンドバスは、宮下以外の地区に直接行くことはできるのか。  
 【回答】宮下以外の地区へも運行しますが、他の乗客の予約状況により、宮下やその他の地区を経由して向かうこととなります。  
 ▼質問Ⅱ問方線では最大で何人乗車しているのか。  
 【回答】朝晩でも10人以上乗ることはめったになく、日中の乗客はほとんどいません。乗客数は年々減少しており、どの路線も日中の利用が非常に少ない状況となっています。  
 ▼意見Ⅱ経費削減を考えると、検討が必要ではないか。  
 【回答】経費削減よりも、運行の無駄を省いてサービスを向上させることを第一に考えての施策です。  
 ▼質問Ⅱ子どもの定期券600円は今まで通りか。  
 【回答】さまざまな意見を聞きながら、全体の料金見直しを、全体の料金見直しを

直しと併せて検討します。  
 3 地区支援事業について  
 ▼質問Ⅱ26年度に募集する事業は、26年度中に実施するという考え方でよいか。  
 【回答】26年度中に実施する事業です。申請受付は5月の予定です。  
 ▼質問Ⅱ雪の重みで倒れそうな神社周りの木の伐採や、地区のごみ収集所の整備などには、地区支援事業は使えないか。  
 【回答】地区の活性化につながる取り組みとしており、木の伐採のみ、ごみ収集所整備のみでは採択できません。なお申請内容については、いつでもご相談ください。  
 4 その他  
 (1)農業について  
 ▼質問Ⅱ国の減反政策、米の作付、補助のあり方、耕作放棄地の対策などについて、町の考えを聞きたい。  
 【回答】次年度をめどに、今後の農政について検討していきます。  
 (2)その他  
 ▼意見Ⅱ役場職員がいさつもせずに通り過ぎていくなど、基本ができていない。  
 【回答】職員の指導に努めます。  
 ▼要望Ⅱ防災端末（テレビ電話）の緊急を要する放送と、通常のお知らせを違う音にしてほしい。  
 【回答】緊急時のサイレンと通常放送のチャイムで区別しています。  
 ▼要望Ⅱ冬期間の駐車場がなくて困っているのだが、何とかならないか。  
 【回答】地区内のこととして相談していただければと思います。  
 ▼質問Ⅱ近隣町村では生活保護世帯が増えていると聞くが、三島町ではどのような状況か。  
 【回答】当町でも以前より増加しており、20世帯ほどとなっています。

**色とりどりの団子に幸せ願う**  
三島保育所で「団子さし」体験

三島保育所の「団子さし」体験は1月14日に行われました。子どもたちは地域の方々に習い、色とりどりの団子を丸めて、ミズノキにさしました。商売繁盛を願う小判や、豊作を願う米俵のほか、子どもたちが思い思いにいろいろな形の団子を作りました。「団子さし」は町内の家々で行われ、小正月の伝統行事として暮らしに根付いており、当町では長年、保育所や小学校での体験を行い、町の文化を伝えています。



出来上がった団子の木を見上げる子どもたち



美しい村連合の杉理事の取材を受けた舟木トメ子さん（右）

**当町が美しい村ガイドブックに**  
来年の改訂に向けて取材

当町が加盟する「日本で最も美しい村」連合の杉一浩理事は1月15日、当町を訪れ、この日に行われたサイノカミや、編み組細工、桐製品、会津地鶏などについて取材しました。同連合が発行する「日本の美しい村ガイドブック」のための取材で、来年の改訂を予定しています。編み組細工の取材では、舟木トメ子さん（間方）のお宅を訪れ、材料や作り方のほか、ものづくりを通じた交流などについて聞いていました。



雪の上での「初田植え」行事を行った森田勝さん

**代々受け継ぐ「初田植え」**  
川井地区の森田勝さん

森田勝さん（川井）は1月15日朝、豊作を祈願する行事「初田植え」を行いました。森田家では代々受け継がれ、勝さんも父から行事を継承しています。雪の上に籾殻をまいて田畑にみたて、稲わら、豆がら、松の葉を植え、手を合わせて祈りました。少し離れたところに立てられた「サイノカミ」とともに、古くからの習わしを継承する小正月の風景が見られました。町外からの見学者も訪れ、厳かな行事を見守りました。



軒下にたまった雪を除雪したボランティア作業

**一人暮らしのお宅を除雪**  
西方地区でボランティア作業

西方地区で2月2日、ボランティアの除雪作業が行われました。地区の方々が、一人暮らしなどで雪かたしがなかなかできないお宅の除雪を行いました。例年より雪が少ないですが、それでも軒下などには高く積もっています。ボランティアの方々は、スコップでの作業や、地区の除雪機を使って除雪しました。ボランティアを受けた方は、「大変助かりました。ありがたいことです」と喜んでいました。

**厳冬の夜に歌声がこだまする**  
松原地区の「鳥追い」



鳥の絵などを描いた旗を手に持ち、氷点下に冷え込んだ夜道を歩いた「鳥追い」

松原地区の伝統行事「鳥追い」は1月14日夜、松原地区の方々のほか、他地区の子どもたちなども参加して行われました。昔から伝わる歌を歌いながら集落を歩き、農作物に害のある鳥を追い払う民俗行事です。子どもたちは自作の旗を持ち、厳しい寒さの中を歩きました。町外からの見学者も参加し、希少な伝統行事が受け継がれる様子を見守りました。

**地区総出で神社を守る**  
大谷の春日神社で防火訓練

文化財防火デーに合わせた防火訓練は1月26日、大谷地区で行われ、同地区の方々と消防団員が参加しました。春日神社からの出火を想定し、通報、文化財の持ち出し、消防ポンプによる放水、消火器による消火などの訓練を行いました。会津坂下消防署三島出張所署員が指導に当たりました。冬は火を使う機会が多いため、火災が発生しやすい季節です。大切な命、財産を守るために、絶対に火事を起こさないようにしましょう。



大谷地区の春日神社で行われた防火訓練

## 鎮守様の注連縄作り 大石田地区

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)



大石田の高尾神社の注連縄作りは、大晦日に壮年クラブの男衆によって行われました。これは地区に何十年と続く伝統行事のひとつで、今回も20人ほどが参加しました。鳥居の注連縄は太い部分が約25センチ余り。ベテランが中心になり、若い人は習いながら大勢で協力して作りあげます。夕刻、出来上がった注連縄を若者が担いで神社へ運び、鳥居と神殿に掛けました。新しい注連縄をいただいた鎮守様に、来る年も地区のみんなが無事でありますようにと祈りました。

## 千枚の半紙でオンベ切り 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん (桧原)

桧原地区のサイノカミは1月15日、春日神社前で催されました。オンベ切りは前夜に行われ、地区の大工さんを中心に10人ほどで作りました。オンベに使用する餅飾りの紙と習字の紙は、大半を同地区の海老名俊雄さんから毎年提供いただいております。今年も半紙1,000枚以上が集まりました。当日は近年にない快晴に恵まれ、「唐橋ユミキヤスターと奥会津バスの旅」の一行も訪れ大変盛り上がりしました。鈴木隆区長が独特の習わしについて説明し、夜7時に点火。餅やスルメを焼いて食べ、無病息災を祈りました。



## 地区の発展を願い新年会 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)



宮下地区の新年会は1月1日、午前10時から宮下活性化センターで開かれ、地区住民約40人が出席しました。五十嵐健二区長が新年のあいさつをしたほか、還暦を迎えた加藤善久さんが節目のあいさつをしました。続いて、今年一年の地区の発展と、災害のないことを願って乾杯し、祝宴を開きました。

## 晴れやかに新年会 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん (西方)



西方地区の新年会は1月1日午前10時から、西方ふるさとセンターで盛大に開催されました。三島中1年の星希来里さんの伴奏で国歌を斉唱した後、坂内洋二区長が挨拶し、町議会の小柴修一議長、小柴正洋議員が年頭の所感を述べました。次いで小松順太郎西方財産管理会副会長の音頭で乾杯し、穏やかな年明けを祝いました。約60名の参加者の中には、町外に暮らす出身者の顔ぶれも見られ、和気あいあいと近況や思い出話を花を咲かせました。結びには渡部栄一老人クラブ副会長の音頭で万歳三唱し、今年一年の健勝と地区の隆盛を願いました。

## 年に一度のご開帳 大石田の虚空蔵堂

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)

毎年この日にのみご開帳される「七日堂」は1月7日、地区の虚空蔵堂で行われました。厄年の人を中心に、お堂いっぱい集まった地区の人たちが延命寺住職の読経をいただき、ご本尊に一年の健康と平安を祈りました。参道整備のため伐採し、見晴らしのよくなった境内から望む雪山、眼下に広がる集落を眺め、新しい年への期待や夢を語り合いました。



## サイノカミで厄払い 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)

伝統行事サイノカミは1月15日、町内各地区で行われ、宮下地区では三島神社境内において行われました。午後6時半、区長や還暦の方々がろうそくの火を手に持ち、点火すると赤々と燃え上がり、一年の厄払いとなりました。



## みかんまきで厄払い 三島初市

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)

三島町スタンプ会主催の三島初市は1月13日、役場前で開かれました。加盟店の出店が並び、お楽しみ抽選会も行われました。午後2時から恒例のみかんまきを行い、集まった方々は御護符を拾い集め、厄払いを願いました。



## 大腸カメラのススメ

内科 愛澤 正人 医師



今回は大腸がん検査についてお話しします。近年我が国では、大腸がん患者数は年間10万人と増加傾向にあり、死亡数は4万人と言われ、女性ではがんでの死亡原因の1位、男性でも3位となっています。皆さんは、種々の検診、ドックなどで、大腸がん検診をされていると思います。具体的には、便を採取し、その中に血液が含まれていないかを検査しますが、早期の大腸ガンなどでは、検査が陰性となることも希ではありません。そこで大腸内視鏡検査（大腸カメラ）をお勧めするのです。皆さんご存じの通り、胃カメラのような内視鏡を肛門から挿入し大腸及び小腸の一部を観察する検査です（決して胃カメラを使用することはありません！）。人によっては手術後の癒着などで痛みを伴うこともあり、そのような場合、鎮痛剤などを用いて検査を行うこともあります。検査中大腸ポリープなどが発見された場合、大きさや、形態などにもよりますが、血をサラサラにする薬などの内服がなければ、その場で切除してしまう事が多いです。基本的には切除後一泊入院して頂く必要がありますので、ご都合がつかない場合は、後日改めてポリープ切除入院の予定を組みます。また、当院では、遠方の方や、高齢で検査の準備が大変という方に対して、前日に入院して大腸カメラの検査をして頂くことも可能です。昨年一年間で、当院では128件の大腸カメラを行い、うちポリープ切除12例、大腸がんを4例認めています。大腸がんは、早期に発見できれば、内視鏡での切除も可能ですので、50代になったら一度大腸カメラを受けましょう。

## 保健・子育て・健康づくり

町民課 ☎ (48) 5565



### 実施予定

#### 4カ月児健診

2月18日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院  
3月11日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

#### 乳幼児健診

2月20日(木) 13:10～ 町民センター  
【対象】乳児、1歳6カ月児、2歳児

#### 足腰げんき教室

▶室内運動編  
2月12日(水) 13:30～ 町民センター  
3月12日(水) 13:30～ 町民センター  
▶水中運動編  
2月19日(水) 13:00 町民センター集合 (河東学園プールへ送迎)  
3月19日(水) 13:00 町民センター集合 (河東学園プールへ送迎)

#### 機能訓練会

2月26日(水) 14:00～ 福寿草

#### 心の健康相談 (※事前申し込み必要)

2月28日(金) 13:30～ 福寿草  
3月24日(日) 13:30～ 福寿草  
【申込先】町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

## 地域ふれあいサロン

### 浅岐あったかサロン

2月13日(木) 10:00～ 浅岐集会所

### 大石田友遊サロン

2月28日(金) 10:00～ 大石田生活改善センター

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

日 時	対象地区	場 所
2月12日(水) 9:00～11:00	滝原	滝原林業集会センター
	13:30～15:30	早戸
13日(木) 9:00～11:00	間方	間方集会所
	13:30～15:30	浅岐
14日(金) 9:00～14:00	松原	松原多目的集会所
18日(火) 9:00～11:00	小山・高清水	高清水集会所
	13:30～15:30	桑原
19日(水) 9:00～11:00	大登	大登生活改善センター
	13:30～15:30	名入
20日(木) 9:00～15:00	西方(1～7組)	西方ふるさとセンター
21日(金) 9:00～15:00	西方(8～14組)	西方ふるさとセンター
25日(火) 9:00～15:00	大谷	大谷活性化センター
26日(水) 9:00～15:00	滝谷	滝谷集会所
27日(木) 9:00～15:00	大石田	大石田生活改善センター
*3月2日(日) 9:00～15:00	全地区	町民センターふれあいの間
4日(火) 9:00～15:00	川井	川井集会所
	5日(水) 9:00～15:00	宮下(宮下・上ノ原・米子沢・青方・建堀) 荒屋敷
6日(木) 9:00～15:00	宮下(居平・館・水尻・田中・中田・中乙田・下乙田) 中平	町民センターふれあいの間
	7日(金) 9:00～14:00	所得税白色申告者

※3月2日(日)は平日の各地区での相談日に都合が悪い方を対象とします。

# 相談 申告

忘れずに申告しましょう。  
平成25年分所得の申告相談を行います。  
各地区の実施日に合わせておいでください。

役場 町民課 ☎ (48) 5555

### ◆申告が必要な方

- ① 農業・営業などの事業所得、地代・家賃などの不動産所得、土地（地上権等を含みます）、建物を売却したことによる譲渡所得などがあつた方（農業・営業・不動産所得のある方は、事前に「収支内訳書」に記載して、申告相談においでください）
- ② 給与収入のある方で⑦年末調整を行っていない方④年末調整済みの給与以外からの給与収入が20万円以上あつた方⑤勤務先等から役場へ給与支払報告書の提出のない方⑥給与以外の所得がある方（※申告不要の場合もあります）
- ③ 収入が公的年金のみで、各種控除（社会保険料控除、生命保険料控除など）を受ける方
- ④ 非課税年金（遺族年金・障害年金）のみ受給している方（※申告していない場合「未申告」となり、国税、後期高齢者医療保険料などの保険料軽減、国民年金保険料の免除申請ができませんのでご注意ください）
- ⑤ 平成25年中に収入がなく、親族の申告（年末調整を含む）の中で「扶養控除」の対象になつていない方

### ◆申告が不要な方

- ① 所得税の確定申告をしていない方
- ② 公的年金収入だけの方で、65歳未満「70万円以下」、65歳以上「120万円以下」の方③ 公的年金とは厚生年金・国民年金・共済年金・農業者年金などです。年齢は平成25年12月31日が基準となります。
- ③ 年末調整をした給与以外に収入のない方

### ◆申告に必要なもの

- ① 印鑑（所得税の確定申告の方は銀行印、金融機関の口座番号が分かるもの）、申告書
- ② 収入金額と必要経費が分かるもの
- ③ 各種控除を証明できるもの④ 医療費控除を受ける方は、領収書などの金額を「氏名」「医療機関」別に集計してきてください。（※その場で計算を行うと時間がかかり、待ち時間が長くなります）

# 民話



## 第35話 鬼むかし

元話 故五十嵐徳次さん（西方）  
再話 五十嵐七重さん（西方）

昔むがあし、八人娘もった爺さまやった。とでも日照り続きで、爺さまの山田はとでも水かかんねえで、ほとほと困ってだ。

「水かかんねえと、米んなんねえ。おらの田さ水かけでくれる奴いだら、娘、好きながなくれんだがなあ」

なんて一人口しゃべった。したらば、雷様出てきて、たいした雨降らせて、爺さま大喜びした。

「おい、今何ちゅった。おめえ、なんて言った」「いや、何とも言わねえ」「言わなぐねえ、言った」「何とも言わねえが、この田さ水かけでくれと、八人いる娘のうちどれでもくれるって言った」「ほだべえ。雨降させたの俺だ。娘くろよ」

って言った。さあ、こんだあ、一人くれんなねえ訳だが、娘たちさ話できながった。辛苦面して寝でたら、一番娘来て、

「爺さま、水でも飲まっしえ」「飲みだぐも食いだぐもねえ」「食わねえと死んじまあがら、食わつ

しえ」「何にもいらねえがら、鬼のどごさ嫁に行ってくれ」「あー嫌だ。鬼のどごさ嫁に行つてられつか」

「さあ爺さま困つてたら、二番目のが来て、

「飲むが食うがしねえが」ちゅうがら、「飲みも食いもしねえ。姉にははねつけられだげんども、にし、嫁に行つてくれ」「おーやだやだ。鬼のどごさ行つてられつか」

はねつけらつちやど。こんだあ三番目、四番目・・・七人みんなはねつけだ。あと一人しかいねえ。困りに困つていたら、八番娘来て。

「姉だちみんなに断らつちやだが、にし、何とか鬼の嫁に行つてくれ」ちゅつた。」「行く行く。代わりに芥子の種三升買つてくんつえ」

芥子の種三升は大変だ。爺さま本気になって用意した。したらば鬼が、かご一人でかついで、むげえさ来た。娘は爺さま言つた。

「この芥子の花咲いたら、花たどりたどり来てくんつえ。俺は来らんねえがもしんにえがら来てくんつえなあ」って鬼んどごさ行つた。

さて何年もたつて、今年も芥子の花がずーつと道のように咲いた。爺さまは芥子の花たよりにずーつと行つたら、鬼の屋敷さ着いた。鬼のこめらが娘どいだつけど、

「爺さまよぐ来てくつちやな。いま鬼殿戻つてくつから」ちゅつてたら、鬼来て。爺さまと娘は下さ寝で、鬼の息子は二階さ寝だ。そうしつと二階で鬼の親子しゃべつてんだ。

「あー爺さま食いだい。食いだいなあ。すつと鬼の子が「おやじ、馬鹿なまねしんやよ」ちゅうど、「いや、食いでえ」。二階の梯子段ごで口から火吹いだつけど。「おやじ、馬鹿なまねしねえでな。俺の爺さまだぞ」どつて寝たふうだ。

さて朝なつと娘が鬼さ言つた

「俺は一回も家さ帰つてねえ。姉だちさも会いでえ」「ああ行つてこお。春の節句にむげえさ行く」そんじえ鬼の息子と三人で帰つた。んじゃげんじよ、節句まであつという間に過ぎた。

「ああ嫌だ。鬼殿は節句待つてらんねえで前の日には来んべなあ」って娘泣いだ。すつと鬼の子が言つた。

「母ちゃん、爺さま、俺は顔も体も半分は鬼だ。母ちゃんの寝で顔見つと食いたいと思うようになった。いづがっしや全部鬼になんだがら、父ちゃんむげえに来たらば、あつちつち炒り豆こしやつて、俺だちさぶつづけでくんつえ。俺だち山さ逃げでぐ」

そう言つた。そんじえな、節句の前の晩、炒り豆いっぺこしやつて待つてだ。

「おーい、ドンドンドン」。鬼来たべえ。鬼の子は「それえー母ちゃん」ちゅうど家ん前さ飛び出す。爺さまと娘は炒り豆「鬼はーそと、おー、バーラバラバラ、鬼はーそと、おー、バーラバラバラ」まく。「アッチチチ。いでえいでえ」。鬼の親子おつぱらつた。

節分の豆まくのは、こんどぎがら始まつた。さうだ。ざつと昔、栄えました。

## 県市町村広報コンクール 当町が2部門で特選 一枚写真と組写真

第59回県市町村広報コンクールにおいて、当町が一枚写真と組写真の2部門で特選を受賞しました。また映像の部でも入選しました。コンクールは県と県広報協会の主催で、平成25年に発行、発表された広報作品が対象。広報紙、写真、映像、ウェブサイト、広報企画の各部門に、36市町村から91点の応募がありました。福島民報社、福島民友新聞社の報道部長や写真部長などがプロの視点から審査に当たりました。

一枚写真で特選となったのは平成25年12月号の表紙で、志津倉山のブナの巨木



一枚写真で特選となった平成25年12月号の表紙

を撮影。巨木に圧倒される登山者も一緒に撮りました。また複数枚の写真で表現された組写真での特選は、平成25年3月号の中で「雪と火のまつり」の様子を見開きで掲載した写真。団子さしやサイノカミなどの伝統行事と、イベントを楽しむ人々の姿を切り取りました。映像の部で入選となったのは、三島町テレビ放送サービスにおける自主放送番組「みしま通信」。伝統行事の話題や三島中パレーボール部の活躍などを30分番組におさめました。特選作品は全国広報コンクールに推薦されます。当



組写真で特選となった平成25年3月号の写真

町は平成24年にも広報紙の部で特選を受賞し、全国でも入選を果たしています。

- ◆広報紙・市の部▽特選
  - 伊達市▽入選
  - 郡山市▽佳作
  - 二本松市◆同・町村の部▽特選
  - 下郷町▽入選
  - 鮫川村▽佳作
  - 三島町、石川町、猪苗代町◆一枚写真▽特選
  - 三島町▽入選
  - 郡山市▽佳作
  - 鮫川村、須賀川市、会津若松市◆組写真▽特選
  - 三島町▽入選
  - 西会津町▽入選
  - 三島町▽佳作
  - 郡山市

## こんにちは。協力隊です。

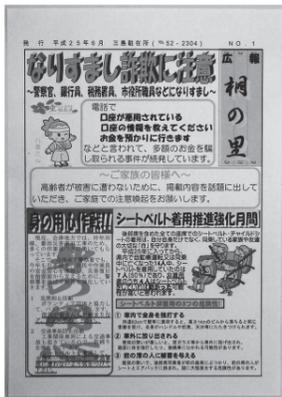
三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

### Vol.4 七日堂裸まいりに参加

2月に入り三島ではますます寒い日が続く、何度か家の気温も氷点下になることもありました。話には聞いていたのですが、実際に自分の目で数字を見た時はとても驚きました。それだけでも自分にとつては大変なことですが、さらに寒い日には水道管が凍って水が出なくなることもありました。このようなことは実際に住んで暮らしてみないと体験することができないものなので、苦勞もかなりありますが、自分にとつては非常に貴重な経験となっています。また、こちらに来てから生活力というか生きるための能力が成長していることを実感でき、とても嬉しく思います。

話は変わりますが、1月7日に奥会津地域の振興という名目で、奥会津振興センターと会津地方振興局、昭和村の苧麻倶楽部の方々と一緒に、柳津町の「七日堂裸まいり」に参加してきました。この行事では下帯一枚、いわゆるふんどし姿の男達が、一年間の無事を祈願し、福満虚空蔵尊円蔵寺の本堂を目指して走り、本堂では大鰐口から垂れる麻縄をよじ登ります。移動中は寒いというより足の感覚が無くなるほど冷たくなり、縄を登る際には大勢の人が激しく押し合い、ぶつかり合いました。そのような試練を乗り越え、私も何とか上まで登ることができ、2014年の良いスタートを切れたのではないかと思います。また私自身は今年で、今年がちょうど年男ということで、そのことも合わせて自分自身にとって、さらには三島町の活動において、良い一年になれば非常に幸いです。

第1位に選ばれた三島駐在所の「広報桐の里」



福島県警ミニ広報紙・交番速報コンクール

三島駐在所の「広報桐の里」が第1位

福島県警ミニ広報紙・交番速報コンクールにおいて、会津坂下警察署三島駐在所の「広報桐の里」がミニ広報紙の部で第1位に選ばれました。平成25年に県内の警察官が作成した広報作品を募集し、ミニ広報紙の部には59点が寄せられました。「広報桐の里」は三島駐在所の松本哲巡查部長が作成し、町内に配布しています。第1位となったのは平成25年6月に発行されたもので、「なりすまし詐欺」への注意や、高齢者の交通事故防止などについて分かりやすく掲載しました。

平成26年度 自衛官募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験日
予備自衛官補	一般	4月2日まで	4月11日から15日のうち、指定された日
	技能		
幹部候補生	一般	4月25日まで	1次試験 5月10日・11日 2次試験 6月10日～13日
	歯科		
	薬剤科		

※詳しくは下記までお問い合わせください。

自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所 (会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1) ☎ 0242 (27) 6724

福島県の最低賃金

(平成25年10月6日から)

時間額 675円

※最低賃金は、常用・臨時・パート・アルバイトなどにかかわらず、県内の事業場で働くすべての労働者に適用されます。

詳しくは、福島労働局賃金室 ☎ 024 (536) 4604、または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

産業別最低賃金(時間額)	最低賃金
非鉄金属製造業	789円
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	774円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	741円
輸送用機械器具製造業	776円
自動車小売業	772円

**JR只見線と代行バスに乗って温泉三昧**

◎ 婦人会、老人会など大歓迎

◆ 日時 第1回 3月3日(月) 第2回 3月18日(火)

◆ 行程 会津宮下駅 午前7時37分発  
会津川口駅から代行バス乗車  
深沢温泉「季の郷湯ら里」 午前9時5分着  
温泉、昼食(自由行動)  
午後2時発  
会津宮下駅 午後3時54分着

◆ 費用 運賃は無料、入湯料、昼食代等は個人負担です。

◆ 定員 各回15名

◆ 申込期限 2月26日(水)

◆ 申込先 奥会津振興センター (町民センター2階) ☎ (48) 5525



会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯 (12月)

0件

ネットショッピング 詐欺に注意

ネットショッピングにおいて、これまで度々「商品が届かない。相手と連絡がつかない」などの相談が寄せられています。次のポイントを参考に、詐欺などの被害に遭わないよう注意してください。

◆ キャッチコピー ◆

「健康食品等の具体的な効能」など、疑わしい宣伝文句は信じない。

◆ 支払いと引き渡し ◆

「前払い、発送は1カ月後」「振込先が個人名義や外国人名義」などは、詐欺サイトの可能性あり。

◆ 返品条件 ◆

通信販売はクーリング・オフ制度がない。返品に関する表示を確認。

◆ 連絡先を確認 ◆

住所・電話番号・メール・責任者氏名などを確認。特に電話番号の掲載がない店からの購入は危険。

街頭犯罪発生件数 (平成25年中)

区分	管内	三島町
強盗	1	
空き巣ねらい	2	
忍び込み	9	2
事務所荒らし		
出店荒らし	1	
自動車盗	1	
オートバイ盗	3	
自転車盗	17	
自販機ねらい	2	1
車上ねらい	3	
ひったくり		
部品ねらい	3	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	42	3
全刑法犯	143	12

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

《消防署からのお知らせ》

体調管理 3つのポイント

暦の上では立春を過ぎましたが、会津地方ではまだまだ寒い日が続きます。油断すると、風邪やインフルエンザにかかったり、けがをしたりします。自分の体調を上手に管理して、暖かい春を待ちましょう。

① 転倒に注意

凍結に気をつけましょう。

② うがい・手洗い

体を清潔に保ち、菌を寄せ付けないようにしましょう。

③ ストレッチ

リラックス効果があり、心拍数を低下させます。

会津坂下消防署 三島出張所

☎ (52) 3032

大卒等 合同企業説明会

平成27年3月に大学等を卒業予定の方を対象に、県内事業所の説明会を開催します。

◆開催日 2月25日(火)

◆会場 ビッグパレットふくしま (郡山市南2-52)

◆内容 10:00～職種・業界研究ゼミ  
11:00～事業所PRタイム  
12:30～合同説明会

◆事業所 県内120社予定

※事前申し込みは不要です。

※参加事業所は開催一週間前に福島労働局のホームページで公開します。※事業所ブースにおける人事担当者の説明、採用計画等の情報提供、ハローワーク等による職業相談などを行います。

郡山新卒応援ハローワーク

☎ 024 (927) 4633

ご寄附 ありがとうございます

町社会福祉協議会へのご寄附

(ご遺志によるもの)

酒井 齊志朗 様(宮下)

角田 信吉 様(荒屋敷)

大竹 哲夫 様(宮下)

諏訪 二郎 様(浅岐)

2月の納税

納期限 2月28日

▶ 固定資産税

第4期

▶ 国民健康保険税

第6期

▶ 介護保険料

第6期(普通徴収)

▶ 後期高齢者医療保険料

第7期(普通徴収)

忘れずにお納めください。

役場 町民課

町の人口と世帯

1月1日現在

人口	1,868	-3	出生	2
男	899	-2	死亡	5
女	969	-1	転入	0
世帯	833	-1	転出	0

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

# 東京で奥会津アピール

東京・飯田橋で「奥会津・西会津フェア」  
地元食材の料理や地酒でおもてなし



6 町村合同開催による初めてのフェア。地元の食材を生かした料理で来場客をもてなした



1

2

3



4

5

1,2,3 当町からは町職員のほか民間の方々も参加し、町のPRや情報交換、来場客のおもてなしを行った 4,5 新たに開発された桐炭パスタや、会津地鶏を使ったメニューを提供した 6 町観光協会の三浦直樹さんがプレゼンテーションを行い、田舎暮らし体験ツアーを例に、当町の文化や自然、町民との楽しい交流を紹介した



6

奥会津・西会津フェアは1月21日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催されました。県の支援を受け、奥会津振興センターが中心となり、奥会津5町村と西会津町が合同で開催。奥会津を応援してくださっている方や、出身者、旅行業関係者など約500人が訪れ、各町村の食材を生かした料理や地酒などのおもてなしが行われました。また移住や就農、山村留学などの相談コーナーも設けられました。そのほか旅行者向けの観光説明会が行われ、各町村のプレゼンテーションで奥会津の魅力アピールしました。さらに金山町と縁のある作家の椎名誠さんが「会津と東京―夢の組み合わせ」と題して講演し、交流を後押ししました。